



越谷市議会議員

福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』 2018年秋号 No. **30**

〒343-0046 越谷市弥栄町4-1-120
TEL/ FAX 048-978-3335
Mail info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

防災士
社会福祉士

小中学校におけるエアコン運用の課題は？

9月定例議会 決算特別委員会より

【福田質問】 平成29年度小中学校全校45校の普通教室にエアコンが設置された。今年の夏は猛暑だったため、エアコンが大変役に立ったと認識している。しかしその一方で小中学校の保護者の方からエアコンの運用についての質問(指摘)があった。現在の小中学校のエアコン運用のルールについて確認する。

【執行部答弁】 各学校が同じ基準で効率的・効果的に利用するため「越谷市小中学校空調設備運用指針」を策定した。運用指針では、原則は28度で設定し、28度を越えた場合、そして生徒の健康を損ねる場合は校長の判断で低い温度で設定することとなっている。



【福田再質問】 エアコンを28度に設定しても室内が28度に保たれるわけではない。教室にいる人の感覚に任せるというのも一つの手だが、ある程度ルール化する必要があるのではないかと考える。教壇の前にデジタルの温度計を設置しておき、授業の初めに先生がチェックを行い28度以上の時は温度設定を変更するという運用などが効率的と考えるが執行部の考えは？またエアコン係(生徒)を設置するなどの工夫もあると考えるが執行部の考えは？

【執行部再答弁】 各先生が教室にある温度計を見ながらエアコンを運用している。また窓側、エアコンの噴出し口近くで温度が違うという現実もあり、扇風機の併用 エアコンのスイング機能の利用、窓側はカーテンを閉めるなどして温度が一定になるよう工夫している。実際に今年度はじめて運用がはじまったこともあり、各学校で課題があるというのは事実である。温度計による運用のルール化については温度計の設置場所などもふくめて検討する。またエアコン係についても校長会やカリキュラムマネジメント検討委員会などで情報を共有しながら検討していきたい。



(決算特別委員会 質問する私)

会派有志メンバーによる行政調査より



更に詳しく！ブログをチェック

2018年7月30日～8月1日の3日間にかけて会派立憲民主党と無所属の会にて行政調査に行ってきました。調査の詳細レポートはブログをぜひご確認ください。

- ①北海道北広島市(7月30日)
シティセールスについて
- ②北海道札幌市(7月31日)
・子どもの貧困対策について
・特定不妊・不育症治療費助成事業について
- ③北海道恵庭市(8月1日)
住民主体の花のまちづくりについて



(質問する私)

9月定例議会 請願より

老朽化した東海第二原発の運転期間延長をさせないよう国に意見書の提出を求める件

9月定例議会では、本請願を賛成多数をもって採択し、その後、議員提出議案として上程。議会で可決し意見書を内閣総理大臣、経済産業大臣、環境大臣宛てに提出しました。私は議員提出議案の賛成者になりました。(議案も賛成)私の主な賛成の理由は次の通りです。

- ①もしも事故が発生すれば、現場からわずか90キロメートルにある越谷市は福島第一原発事故以上の甚大な被害を受けると想定される。
- ②2011年3月に発生した福島原発事故は、いまだ事故収拾の途上である。
⇒現在の技術で原発事故は解決できていない。
⇒核の廃棄物の処理方法も確立していない。
⇒未来により良い環境を残すのは、現代を生きる我々の責務である。



福田あきら(43歳)プロフィール

【所属会派】立憲民主党と無所属の会 【常任委員会】教育環境・経済常任委員会 【その他】越谷・松伏水道企業団議員

1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)
1982年清浄院幼稚園卒園
1988年越谷市立桜井南小学校卒業
1991年越谷市立越谷北中学校卒業
1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業
1998年法政大学法学部法律学科卒業
2000年現:伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社
⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務
2011年越谷市議会選挙初当選
2015年2期目当選

●資格 社会福祉士/防災士/情報セキュリティマネジメント/宅地建物取引士/終活カウンセラーなど
●家族 妻と長男、次男、チワワ2匹
●サッカー選手としての経歴
・越谷フットボールクラブ(小学校1年～6年/社会人)
・水戸ホーリーホック【現Jリーグ2部】
・国民体育大会(国体)サッカーや全国社会人サッカー選手権優勝など三度の日本一を経験
・越谷市サッカー協会副会長
・越谷市スポーツ少年団理事長



日々情報
発信中

公式ホームページ
越谷市議会議員
福田あきら



ブログ
福田あきらの
政治家日記



★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00～18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方のみ対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

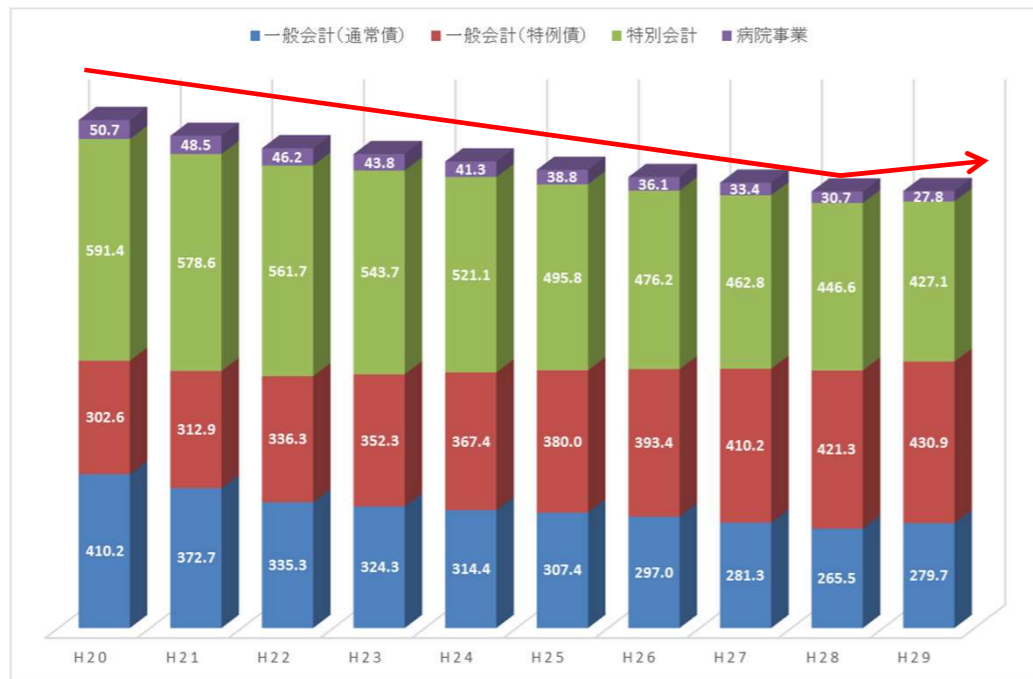
越谷市の借入金残高は平成29年度で増加に転じる！その理由は？

借入金(地方債残高)推移表

【単位:億円】

項目	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
一般会計(通常債)	410.2	372.7	335.3	324.3	314.4	307.4	297.0	281.3	265.5	279.7
一般会計(特例債)	302.6	312.9	336.3	352.3	367.4	380.0	393.4	410.2	421.3	430.9
特別会計	591.4	578.6	561.7	543.7	521.1	495.8	476.2	462.8	446.6	427.1
病院事業	50.7	48.5	46.2	43.8	41.3	38.8	36.1	33.4	30.7	27.8
市債合計	1,354.9	1,312.7	1,279.5	1,264.0	1,244.2	1,222.0	1,202.8	1,187.8	1,164.2	1,165.5
市債前年度比較	▲ 50.3	▲ 42.2	▲ 33.2	▲ 15.5	▲ 19.8	▲ 22.2	▲ 19.2	▲ 15.0	▲ 23.6	▲ 1.3

越谷市は、今までは①一般会計、②特別会計、③病院事業会計の3つ合計での借入金残高は毎年減少させるという運用を貫いてきました。しかし、残念ながら平成29年度は、**借入金残高が約1.3億円増加**という結果です。この**主な要因は小中学校へのエアコン設置**で多くの借入をしたことです。また**今後は市役所本庁舎の建替えがあり、大きな事業が重なる結果、数年間は借入金残高が増える方向**です。どうしても必要な事業なので、借入はしなければなりません、必要以上には増えないように、継続してチェックをしていきます。

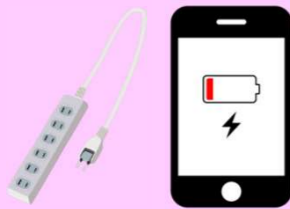


9月定例議会 決算特別委員会より(つづき)

災害における備蓄品をチェック

【**福田質問**】 災害対策の機運も高まっていることもあって、多くの備蓄品が準備されてきたと認識をしている。そんな中、先日発生した北海道の大地震では、携帯電話、スマートフォンの充電の需要がものすごく高いことが把握できた。越谷市の備蓄品の中に充電器等や複数のコンセント口がある電源タップは用意されているのか？

【**執行部答弁**】 現在越谷市では、スマホの充電器や電源タップなどは備蓄していないが、発動発電機を備蓄している。また近年では避難所での電子機器の使用が求められているため、インバーター式発動発電機の備蓄を進めている。



ひきこもりの方の高齢化 親の高齢化を考える

【**福田質問**】 精神保健教室の取り組みに、「ひきこもりの家族にたいする家族教室」「ひきこもりの家族の集い」があるが、その取り組み内容？ またひきこもりの方やその親の高齢化に対する認識は？



【**執行部答弁**】 最近では8050という言葉に象徴されるように、親が80歳で、引きこもっている方が50歳という状況が増えてきている。相談者が一番気になっているのが親亡き後の生活である。そうした状況を踏まえ、ここ3年では、家族教室にてファイナンシャルプランナーや社会保険労務士、臨床心理士による所得保障やライフプランの講演を実施している。また家族の集いでは、孤立がキーワードとなっており、当事者家族での会話を通じて安心感や明日にむかっのエネルギーを提供している。

児童発達支援センターの更なる取り組み『ペアレントメンター』を提案

【**福田質問**】 児童発達支援センターでの具体的な相談内容は？ またどのような知識を持った方が相談にのっているのか？ 発達障がい児を育てた経験がある親が、ほかの発達障がい児のいる保護者の相談にのる「ペアレントメンター」という取り組みが東京都の新宿区、足立区、三鷹市や神奈川県川崎市の川崎市で行われており、悩む保護者らの安心感につながっている。この取り組みを実施すべきと考えるが、執行部の考えは？

【**執行部答弁**】 相談内容は、言葉の遅れが主であるが、情緒のこと、知的のこと、動作の遅れのことなどがある。それぞれに応じて、言語聴覚士、保健師、理学療法士、作業療法士、心理士などが相談にあたっている。またペアレントメンター事業は越谷市単独では実施していないが、埼玉県で人材は派遣してくれる制度があり、今年度はその制度を活用する。そこでの効果等を検証していく。



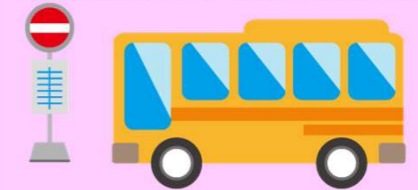
総合体育館使用料のうち空調設備使用料(冷暖房費用)についての妥当性を確認

【**福田質問**】 猛暑の夏が続くなか、冷房施設がある越谷市立総合体育館は貴重な施設である。その空調設備利用料の算出根拠は？ またスポーツ少年団などのチームが1日間貸しきって大会などを開催すると体育館使用料、照明料も含めると10万円以上にもなってしまう。料金の見直しを検討する必要があると考えるが執行部の考えは？

【**執行部答弁**】 冷暖房費用は実費相当分となっている。具体的には機会の設定から一時間あたりの電気使用料を算出して値段を決めている。また現在、冷暖房費の運用については使用者と運営者が協議をしながら、温度設定やスイッチのオン・オフのタイミングなどを決定し、電気代を抑えるような工夫もしている。様々な声があるなかで、今後の料金改定の際には全庁的な考え方の中で空調設備使用料について検討していく



公共交通の取組を確認



【**福田質問**】 新たな公共交通(バス・タクシー等)を考えるうえで必要となるガイドライン作成の進捗具合は？

【**執行部答弁**】 越谷市地域公共交通協議会では市内に存在する『路線バス等の利用が不便である7地区』での新たな公共交通のあり方が検討されている。平成28年度では、当該7地区で公共交通地区懇談会を各1回開催し協議を行った。平成30年度以降はモデル地区を選定し、地域にふさわしい公共交通を具体的に考えていくことになる。事業者・市(行政)・市民の役割分担(費用分担含む)、運行経路、バス停の位置など検討し手順をまとめて、ほかの地域にも普及可能なガイドラインを作成していく。なお平成32年度までにガイドラインを完成させる予定である。

豪雨時における下水道の不明水を確認

不明水とは、様々な要因で污水管の中に地下水や雨水が侵入する現象です。現在越谷市は基準値の範囲内ですが、繰り返される豪雨を受けて、不明水対策の強化を改めて要望しました(写真は調査の様子)



ふるさと納税返礼品のあり方を問う

【**福田質問**】 ふるさと納税のあり方として、返礼品競争の激化と都市部の財源減収が報道されている。越谷市は寄付金389万円に対して控除額が2億5千万円以上であるとの認識だが今後の執行部の考え方は？

【**執行部答弁**】 越谷市はブランド認定品などを返礼品としてきたが、特産品で他の自治体と競争するのは限界があるとする。制度の趣旨を踏まえ、返礼品の充実に加え、サービスの充実など越谷市を応援しようとしたくなる取り組みを検討していく。